

# 真田の郷まちづくり計画

みんなで作ろう「心豊かな未来の真田」



令和2年（2020年）2月

真田の郷まちづくり推進会議

# 目次

計画策定にあたって	2
I. 計画策定の目的	3
II. 計画期間	3
III. 地域の現状と課題	3
1 人口減少、少子高齢化の進展	3
2 地域の課題等	4
IV. 地域の将来像	6
V. 地域まちづくり計画(分野別)	7
1 福祉	7
2 教育・子ども・文化	7
3 防災・防犯	8
4 自治・コミュニティ	8
5 総務・広報	9
VI. 計画推進のために	9
1 推進体制	9
2 計画の見直し	9
VII. 資料編	10
1 自治会別人口資料	10
(年少・生産年齢・老年人口の割合)	
2 懇談会等での意見課題	11
3 真田の郷まちづくり計画策定経過	15

# 計画策定にあたって

真田地域の住民自治組織である真田の郷まちづくり推進会議の中長期計画となる「真田の郷まちづくり計画」の策定にあたり、自治会長様はじめ地域の方々や専門家の皆さまのご協力ご意見をいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

真田地域は縄文時代から人が暮らしてきた人の“くらし”の積み重ねの上にあります。戦国武将真田氏の発祥の地でもあり、菅平には貴重な自然が広がる多様に富んだ地域です。

2030年を過ぎると日本の人口動態の変化に伴い、社会構造は大きく変わっていきます。同時に世界的な気候変動や情報技術の発展や社会構造の変化は、これまでの当たり前が変わり不確定や変化が多い時代に入っています。私たちは一人ひとりが主体となり、これからの時代に歩んで行かなければなりません。

「みんなでつくろう心豊かな未来の真田」。地域づくりは誰かがやってくれるのでなく、一人ひとりみんなが関わるのが大切であると感じます。

真田の郷まちづくり推進会議は、大きく変わる社会の中で私たち住民が主体となって地域で暮らしていけるよう2017年に設立されました。このまちづくり計画は当会活動の指針となるものであり、本来であれば策定にあたっては、全自治会のアンケートや子どもの意見も取り入れ、もっと皆さまと共に作っていくべきです。しかしながら発足後、組織整備を行いながらであり、また時間がかかることから2019年度で第一段階として策定をし、事業を実施しながら今後の地域づくりの計画をさらに考えていきたいと思えます。

さらに災害や世代の交代や社会の変化など、地域の状況は刻一刻と変化するものと思われれます。この計画書も固定化されたものでなく、臨機応変に時代に即応して改変していけるのが大切です。

当会は菅平を含めた長、傍陽、本原の非常に広い活動範囲となっております。どうしても地域全体を住民だけの力で網羅することは大変です。また日本全体が縮小する中では、自分の地域だけよくしようという訳にはいきません。小手先の対策でなく、変化に対応して助け合いながら、どう暮らしていけるかを模索しなければなりません。

それには、住民だけでなく行政、福祉法人やNPOなどの各種団体、企業など様々な関係機関がこれまでの枠を超えて連携し、知恵を出し合っていく必要があります。

未来がどうなるかは、わかりません。しかし、しなければいけないのは、現状維持や未来に対して負を残すのではなく、新しい未来を創造していくことであると思えます。

未来に向けて、この地域がさらに進化してより良くなりますよう、ご参画をいただきますようお願い申し上げます。

2020年2月 真田の郷まちづくり推進会議 会長 宮下俊哉

## I. 計画策定の目的

地域住民が主体となり、真田地域に暮らす人々の誰もが尊重され、一人ひとりが支え合い「心豊かな未来の真田」をつくるため「地域まちづくり計画」を策定します。

## II. 計画期間

計画期間は令和2年度(2020年度)から令和11年度(2029年度)までの10年間とします。

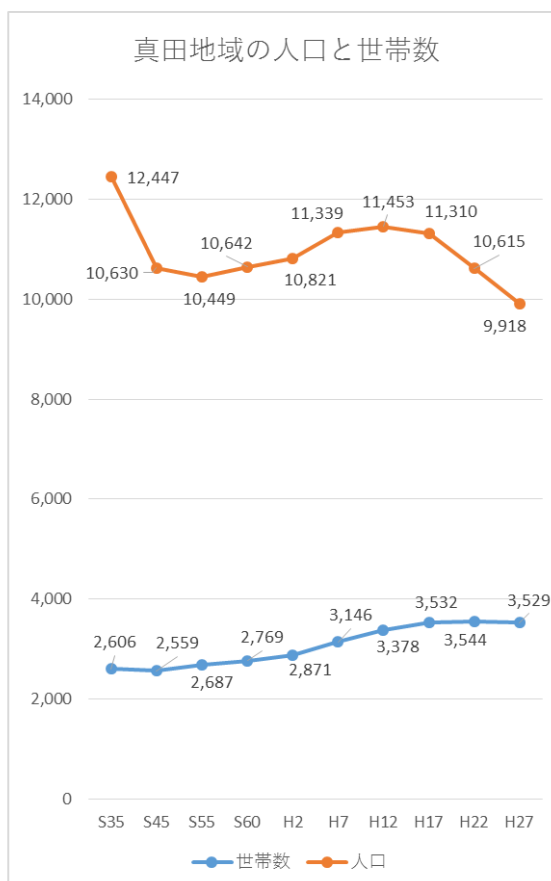
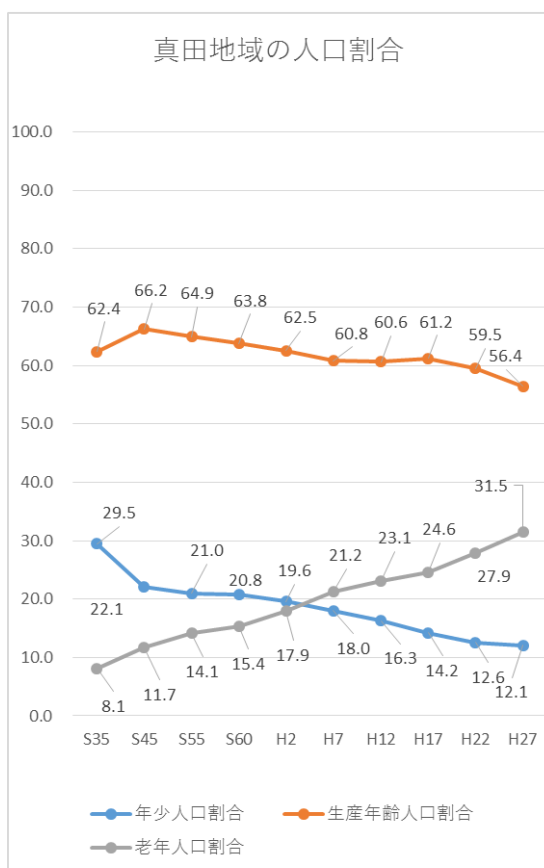
## III. 地域の現状と課題

### 1 人口減少、少子高齢化の進展

平成31年(2019年)3月に上田市が策定した上田市立地適正化計画での真田地域人口は、平成22年(2010年)の10,615人を基準年とし、令和17年(2035年)には7,727人に減少すると推計されています。

人口減少、少子高齢化は我が国全体での大きな課題であり、真田地域としても、産業や福祉、コミュニティ運営でも困難な時代が到来するものと考えられます。

年	S35	S45	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27
世帯数	2,606	2,559	2,687	2,769	2,871	3,146	3,378	3,532	3,544	3,529
人口	12,447	10,630	10,449	10,642	10,821	11,339	11,453	11,310	10,615	9,918
年少人口(15歳未満)	3,670	2,347	2,194	2,216	2,119	2,045	1,871	1,601	1,340	1,200
生産年齢人口(15~64歳未満)	7,765	7,036	6,779	6,793	6,764	6,891	6,940	6,921	6,308	5,583
老年人口(65歳以上)	1,012	1,247	1,476	1,633	1,938	2,403	2,642	2,788	2,954	3,120
年少人口割合	29.5	22.1	21.0	20.8	19.6	18.0	16.3	14.2	12.6	12.1
生産人口割合	62.4	66.2	64.9	63.8	62.5	60.8	60.6	61.2	59.5	56.4
老年人口割合	8.1	11.7	14.1	15.4	17.9	21.2	23.1	24.6	27.9	31.5
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



真田地域の年齢3区別の人口は、平成7年（1995年）には老年人口（65歳以上）が年少人口（15歳未満）を上回り、少子高齢化が進展しています。

今後、上田市全体では老年人口は増加し、年少人口と生産年齢人口（15歳以上65歳未満）の減少傾向は続くと考えられ、令和22年（2040年）には生産年齢人口1.27人で1人の老年人口を支えることとなります。

## 2 地域の課題等

今まで行ってきた調査のうち、地域外から転入してきた方からの声では、「真田地域は自然環境に恵まれている」、とりわけ「水が美味しい」、「地理的にも上田駅や高速道路インターも利用しやすい」、「見守り隊があり安心」、「学校の自校給食が美味しい」、「人がいい」といった回答をいただきました。

その一方、多くの課題等が出されています。主なものは以下の通りです。

### (1) 少子高齢化が進んでおり、いろいろな問題が出てきている。

- ・若い人が近隣市町村や上田地域へ流出しており、自治会等の役員のなり手が不足している。
- ・消防団活動に若手がいない。
- ・団体スポーツは人数が少なく苦勞している。

- ・ 将来的に家やお墓を守っていくことについて不安がある。
- ・ 親の介護を息子一人で担うようになり悩む者もいる。気軽に相談できるようなことを望む。

## (2) 公共交通について

- ・ 家からバス停まで距離がある。
- ・ バス停間が離れており効率が悪い。

## (3) 空き家・空き地等に関すること

- ・ 空き家・空き地等が増えている。
- ・ 空き家等の増加により防犯上の問題や周辺の環境保持が課題となっている。
- ・ 空き家等の老朽化(倒壊)への対応が必要です。

## (4) 自治会に関すること

- ・ 人がいないのに役職が多すぎる。なり手がいない。
- ・ 地域の活動を残したい。
- ・ 自治会活動参加者が減少している。
- ・ 役員の仕事の負担が重い。
- ・ 自治会費が高い。自治会入会の際の入会金がある。
- ・ 自治会同士で行事等連携してもよいのではないか。
- ・ 自治会での作業等に対して、借家の方やU・Iターン者の理解がなかなか得られない。

## (5) 生活、コミュニティに関すること

- ・ 近所の商店やJA店舗がなくなり、高齢者の買い物が大変になっている。
- ・ 生活に支障が出るので免許返納ができない。
- ・ 近所付き合いが減っている。
- ・

## (6) 防災・安全に関すること

- ・ 自治会内で防災組織化が進んでいないため災害時の対応への不安がある。
- ・ 災害時における住民支え合いマップの実効性があるのか（マップは自治会長のみが把握）。

### <参考調査等>

平成30年度インタビュー、平成30年度真田地域自治会アンケート集計結果、平成30年度さなだのくらしを語る会、令和元年度地域まちづくり総会懇談会、平成29・30年度地域づくり委員会記録等

※資料編（10P～）に懇談会等での意見を掲載しています。

## IV. 地域の将来像

社会における様々な違いを認め合い、お互いが支え合い、誰もが安心して暮らせる地域コミュニティの醸成された地域

スローガン

**みんなで作ろう「心豊かな未来の真田」**



傍陽ふるさと公園より望む上洗馬の風景

## V. 地域まちづくり計画（分野別）

### 1 福祉



令和 22 年（2040 年）の上田市全体の人口に占める高齢者の割合は 39.5%、10 人に 4 人は 65 歳以上という国立社会保障・人口問題研究所の推計値があります。

地域の誰もが楽しく活躍でき、そして安心して住める地域づくりを進めます。

- (1) 社会福祉協議会、地域の関係団体等と協働し、地域に住むすべての人が地域内で孤立することなくいきいきと暮らせるよう、地域サロンを開催するなど、地域包括支援の推進に努めます。
- (2) 地域住民全員で支え合える地域社会づくりに取り組みます。地域内の各種団体との協働による支え合い会議を開催し、各種事業を展開します。
- (3) 買い物、通院等の際の交通手段が課題となっており、少子高齢化の進展により、今以上に厳しい状況になることが予想されます。地域住民の皆様の実態等を把握するために研究を進め、各種団体と協力し、課題解決に努めます。

### 2 教育・子ども・文化



子どもたちを取り巻く社会状況や学習環境は大きく変わってきています。自死やいじめ、引きこもりなどの問題も取り上げられることが多くなっています。このような状況の中、将来の地域を担う子どもたちにとって、生活環境、学習環境は重要であり、地域全体で環境を整備していく必要があります。また真田氏発祥の地である真田地域の歴史と文化を次世代に伝えていく必要があります。

- (1) 保育園、幼稚園、小・中学校との連携を図り、コミュニティスクールの推進を支援します。
- (2) 地域住民・公民館との協働により、子どもたちが体験を通じた学習活動の機会をつくれます。
- (3) 未就学児の子育て支援や子育て世代の親同士による交流の場づくりに取り組みます。
- (4) 祭や神楽などの行事、伝統芸能は地域の誇りであり、後世に伝えていくべき文化です。後世への伝承・記録を支援します。
- (5) 真田地域の特色を活かした子育てに取り組みます。
- (6) 真田地域の歴史や文化を次世代に広く伝える活動に取り組みます。



### 3 防災・防犯



最近は予想できないような災害が発生しており、日頃から有事の際の対応への準備が強く求められます。

また、安心な地域社会を実現するためにも、犯罪防止や交通安全に取り組む必要があります。

- (1) 自治会等の防災・減災活動への支援を進めます。
- (2) 地域、学校等で行われる防災教育を推進します。
- (3) 現在、子どもたちの登下校時の見守り活動が行われていますが、学校や地域の皆様、各種団体との連携により、より効果的な見守り活動が行えるよう取り組みます。

### 4 自治・コミュニティ



人口減少や少子高齢化の進展が加速する中で、私たちの子や孫の世代が住み続けたいと思える地域になるよう取り組みます。

- (1) より良い地域の実現のため、地域内（自治会間）の情報交換ができる場を設定するなど、自治会等とともに取り組みを進めます。
- (2) 地域内の困りごとに応えられるよう、地域で支え合える人材バンク（有償・無償）について検討を進めます。
- (3) 地域や世代を越えた住民同士が交流できるイベントなどを開催します。
- (4) 地域の既存施設等を利用し、住民のよりどころとなるような交流の拠点づくりに取り組みます。
- (5) 自治会等の活動を支援するため、各種備品等の貸し出しを行います。

## 5 総務・広報



真田を好きになるには、真田のことを知ることが大事です。

住民目線で地域内の情報などを積極的に発信できるよう取り組みます。

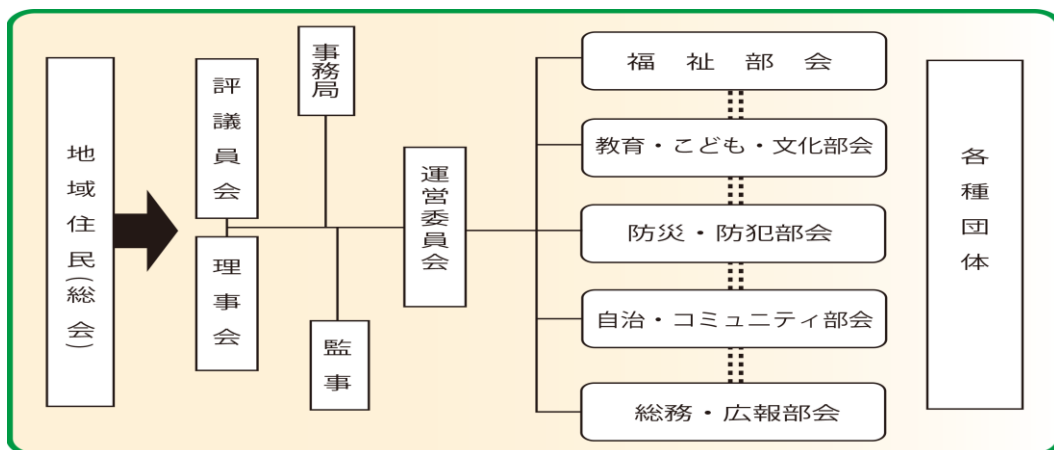
地域内の身近な情報や推進会議からのお知らせなど、新聞の発行、ホームページ等により積極的な情報発信に取り組みます。

- (1) 新聞の発行、ホームページを利用した、広い年代の方々に見ていただけるようなお知らせができるよう研究し、情報発信に努めます。
- (2) 地域の年間行事等の情報を収集し、紹介を行います。
- (3) 必要な情報だが十分知られていないという情報があります。住民生活に役に立つ情報の収集を行い、お知らせするよう努めます。

## VI. 計画推進のために

### 1 推進体制

スローガンに掲げた「みんなでつくろう『心豊かな未来の真田』」を実践するために下記の組織体制でまちづくり計画を推進していきます。



※部会の整備は一斉に行うのではなく、住民・各種団体の理解を得ながら順次行っていく。

※部会は同じ目的の団体等とネットワークを持ち、協働していく組織とする。

### 2. 計画の見直し

計画期間内であっても必要に応じ、計画は見直すものとします。

## VII. 資料編

### 1 自治会別人口資料（年少・生産年齢・老年人口の割合）

令和元年7月1日現在																		
自治会名	合計			年少人口			生産年齢人口			老年人口			老年人口割合			年少人口割合		
	男	女	計	0~14			15~64			65~			男	女	計	男	女	計
				男	女	計	男	女	計	男	女	計						
首平	568	593	1,161	58	74	132	346	345	691	164	174	338	28.9	29.3	29.1	10.2	12.5	11.4
大日向	159	169	328	14	15	29	80	80	160	65	74	139	40.9	43.8	42.4	8.8	8.9	8.8
角間	28	30	58	1	0	1	15	13	28	12	17	29	42.9	56.7	50.0	3.6	0.0	1.7
横沢	106	94	200	7	4	11	55	43	98	44	47	91	41.5	50.0	45.5	6.6	4.3	5.5
真田	218	237	455	30	31	61	105	97	202	83	109	192	38.1	46.0	42.2	13.8	13.1	13.4
十林寺	47	49	96	5	3	8	20	15	35	22	31	53	46.8	63.3	55.2	10.6	6.1	8.3
石舟	161	155	316	28	25	53	94	90	184	39	40	79	24.2	25.8	25.0	17.4	16.1	16.8
戸沢	80	77	157	10	4	14	46	32	78	24	41	65	30.0	53.2	41.4	12.5	5.2	8.9
つくし	81	80	161	8	9	17	41	40	81	32	31	63	39.5	38.8	39.1	9.9	11.3	10.6
横尾	327	325	652	42	29	71	187	171	358	98	125	223	30.0	38.5	34.2	12.8	8.9	10.9
四日市	101	107	208	20	18	38	45	50	95	36	39	75	35.6	36.4	36.1	19.8	16.8	18.3
入軽井沢	69	72	141	2	5	7	38	30	68	29	37	66	42.0	51.4	46.8	2.9	6.9	5.0
岡保	58	69	127	7	12	19	36	32	68	15	25	40	25.9	36.2	31.5	12.1	17.4	15.0
傍陽中組	159	156	315	20	18	38	81	74	155	58	64	122	36.5	41.0	38.7	12.6	11.5	12.1
大庭	90	89	179	14	8	22	41	45	86	35	36	71	38.9	40.4	39.7	15.6	9.0	12.3
曲尾	220	208	428	22	12	34	122	123	245	76	73	149	34.5	35.1	34.8	10.0	5.8	7.9
萩	189	206	395	15	20	35	121	106	227	53	80	133	28.0	38.8	33.7	7.9	9.7	8.9
田中	70	81	151	3	5	8	36	36	72	31	40	71	44.3	49.4	47.0	4.3	6.2	5.3
下横道	95	102	197	6	6	12	48	48	96	41	48	89	43.2	47.1	45.2	6.3	5.9	6.1
中横道	48	51	99	1	4	5	29	17	46	18	30	48	37.5	58.8	48.5	2.1	7.8	5.1
上横道	51	49	100	6	7	13	27	21	48	18	21	39	35.3	42.9	39.0	11.8	14.3	13.0
穴沢	40	31	71	2	2	4	20	10	30	18	19	37	45.0	61.3	52.1	5.0	6.5	5.6
三島平	19	22	41	2	2	4	8	8	16	9	12	21	47.4	54.5	51.2	10.5	9.1	9.8
上原	74	67	141	13	6	19	43	36	79	18	25	43	24.3	37.3	30.5	17.6	9.0	13.5
下郷沢	119	132	251	22	24	46	71	82	153	26	26	52	21.8	19.7	20.7	18.5	18.2	18.3
小玉上郷沢	56	53	109	6	6	12	37	33	70	13	14	27	23.2	26.4	24.8	10.7	11.3	11.0
赤井	69	68	137	2	5	7	37	28	65	30	35	65	43.5	51.5	47.4	2.9	7.4	5.1
下塚	22	21	43	3	2	5	11	11	22	8	8	16	36.4	38.1	37.2	13.6	9.5	11.6
竹室	200	191	391	25	21	46	118	108	226	57	62	119	28.5	32.5	30.4	12.5	11.0	11.8
荒井	275	283	558	32	41	73	177	165	342	66	77	143	24.0	27.2	25.6	11.6	14.5	13.1
中原	197	215	412	22	38	60	122	120	242	53	57	110	26.9	26.5	26.7	11.2	17.7	14.6
表木	75	81	156	7	8	15	41	45	86	27	28	55	36.0	34.6	35.3	9.3	9.9	9.6
大畑	271	280	551	41	47	88	170	152	322	60	81	141	22.1	28.9	25.6	15.1	16.8	16.0
下原	405	420	825	57	51	108	254	257	511	94	112	206	23.2	26.7	25.0	14.1	12.1	13.1
町原	146	153	299	16	16	32	95	99	194	35	38	73	24.0	24.8	24.4	11.0	10.5	10.7
出早	174	178	352	14	19	33	126	119	245	34	40	74	19.5	22.5	21.0	8.0	10.7	9.4
合計	5,067	5,194	10,261	583	597	1,180	2,943	2,781	5,724	1,541	1,816	3,357	30.4	35.0	32.7	11.5	11.5	11.5

(注)平成24年7月9日から住民基本台帳法改正により、外国人も含む。

(住民基本台帳 自治会別、年齢別人口統計令和元年7月から)

## 2 懇談会等での意見課題

分野		各種懇談会・アンケート等で出された 意見・課題
総務・広報	広報	魅力あるイベントや景色があるが知られていないものが多い。
		観光資源としてのPRについてもっとやり方があるのではないか。
		推進会議のイベント等について、実施後の「やりました」という広報だが、やるという告知を知らない。
	まちづくり	小学生、中学生にどんな真田町にしたいか夢を聞きたい。 これからを担うのは子ども達や若者なので意見を聞きたい。
福祉	高齢化	高齢者世帯（独居含め）多くなってきている。今後も増える。
		高齢者を介護する子どもは悩んでいる。社協等で相談できるようにお願いしたい。
	生活	高齢者の買い物の大変さ。近所に店がなくなってきている。買い物は移動販売車、生協に頼る高齢者が多い。
		自宅からバス停まで、またバス停から目的地までの往復等が長く買い物等をした場合大変。
		少子高齢化、人口減少が進む中で、自治会単位での住民支え合い事業（高齢者に対するゴミ出し、雪かき、買い物など）の支援を有料・無料で行う仕組みを推進会議で考えて欲しい。
		個人情報の事があり、民生委員や福祉関係者でも生活に立ち入りが難しい。隣近所で見守り、見守られる環境づくりができればいい。
		運転できなくなった時の支援（買い物・医者・仕事）
	参加	老人会の会員減少による存続困難地域が多い。
		サロン等に参加するのに足が不自由で行かれない人がいる。
		高齢者の経験を利用できるまちづくり。
		高齢者が楽しく生きられるまち。
	教育・文化・子ども	子ども
小学生の登下校時の見守りはありがたい。		
子ども達を交えて話し合う場を設ける。		
子どもたちが少ない。育成会の活動もできない状態である。		
少子化		PTA活動について、複数の支部（自治会）が合同で活動しているところもある。
環境		小学校の通学路の除雪の問題。誰がやるのかお金はどうするのか。
文化		さなだの古文書の散逸防止、集約して保存・管理し、歴史を伝えていく必要がある。
		お年寄りとの交流（おやき作り・しめ縄作りなど）
	子ども達に地域の事を伝えていくことが大切。	

	文化	御屋敷を守っていきたい。
防犯・防災	防犯	子どもたちへの「声かけ運動」を進めて欲しい。
		上田市の犯罪率（大人、子ども）は、真田地域が一番低いと聞いたが、市としても認識をしてもらい、真田地域の人や、特に子どもを持つ親に広く知らせてもらいたい。
		傍陽地区は通学時の防犯見守りがないので、年配の皆さんに出てもらってはどうか。
	支え合い	住民支え合いマップは自治会長が持っているのみで、災害時、自治会長不在時の対応ができない。また、若い支援者の場合、平日の日中は仕事で不在となり災害発生時どうするのか。
		支え合いマップが整備されてはいるが、個人情報が入っているため、どの程度訓練で使用していいのか苦慮している。
		大災害時には、身障者や高齢者に対し民生委員だけでは対応できない。赤十字や自治会役員との連携を推進していく必要がある。
	防災	地域面積が広く、災害発生した場合の対応に困難が予想される。
		災害時への対応の不安（組織化が進んでいない）。
		最近の豪雨災害では他人事ではなく早急な避難所開設と隣接する自治会との連携した対応を強化したい。
		防災研修で自分の身は自分で守る事の大切さを学んだ。土砂災害警戒区域なので、防災意識を高める必要がある。
		転入者にハザードマップの配布がない。
		消防団員の確保をしてほしい。
		自治会でも、防災、災害時の対応など備えが必要である。
		人が減っている状態では防災活動もできない。
		山間地では、気象予報士をおく対策が必要ではないか。
		有線放送契約が減っている。防災無線の設備を整えて欲しい。
	有線放送加入率50%で市は災害時の伝達方法をどのように考えているのか。検討してほしい。	
	地震は少ない所だが、安心安全をもっと発信していく必要がある。	
	自治・コミュニティ	役員
自治会役員のなり手不足。副自治会長を廃止し2役にしたり、役員の仕事、負担の軽減化を進めている。		
地域の役が大変だ。		
自治会の人数が少ないのに、役職が多すぎる。役をまとめる、減らす。		
何年先までも役員が決まっている。		
役員のみなり手がいない。		
自治会の役員だが、外から来た人がやってくれる傾向がある。		

自治・コミュニティ	役員	自治会役員等もっとスリム化した方がいい（やる人がいない）。
	担い手 不足	人口減少と少子高齢化が進行、若者の転出により人員不足となり、公民館活動の休止や消防団活動への影響が出ている。自治会活動も近いうちに困難になる。
		少子高齢化、若者の流出は真田のどこの自治会でも深刻化してきている。自治会の合併、その他の対策方法があると思うが、市としてどのように考えているのか。
		若い人が近隣市町村や上田地域へ流出している。
		消防団活動に若手いない。
		団体スポーツは人数が少なく苦勞している。
	コミュニティ	I・Uターンで自治会に住む方がいるが、区の決まり事（雪かき、区内草刈り、水路清掃、山林整備等）がなかなか理解してもらえない。
		若い年代を中心に新規自治会加入者が増加しているが、今までの自治会の慣習、しきたりになじまない、交流会等持ちにくい。
		近所付き合いが減ってきている。
		少子高齢化で地域のコミュニティは変わってくるのではないか。
		自治会感覚が古い。
		商店や公的施設（学校を除く）の数が少ない。
		移住者が自治会に入ってくれない。
		昔からある地域の生活を守りたい。
		行事を通じて住民のコミュニケーションを深めていく様な活動が必要。
	活動 ・ 参加	地域の行事の見直しの必要性がある。
		地域の活動を残していきたい。
		まず自分たちが何をしたらよいか。
		菅平では家・仕事中心で地域活動する人は少ない。
		自治会の運動会もなくなった。
		昔ながらの行事を見直した方がいい。
		地域振興、自治会活動に協力してくれる人が少ないように思う。
		町の行事への参加者の減少
		少子高齢化に伴う自治会活動の衰退
	田舎の良さを知ってもらい田舎の自治会にみんなが参加してほしい。	
	空き家 ・ 空き地等	廃屋が増えているので、倒壊のおそれあり。生命にもかかわり危険の為、毎日不安で通行している。今のうちから対策を。権利関係や費用の問題はあると思うが、具体的な解決策を講じて欲しい。
		家屋解体の補助金があればいい。（下横道に2件あり大変危険である。）
耕作放棄地が増えている。		

自治・コミュニティ	空き家 ・ 空き地等	空き家が増え、老朽化が進んでいる。防犯上の問題や周辺の環境整備に苦慮している。
		空き家、空き畑の増加。
		遊休農地でそばづくり
		ヤギによる遊休農地解消
		空き家と人とのマッチング
		外から人を呼び込み利用いただく、そのための受入態勢整備、6次産業化への活用、儲かる仕組み作りなど。
		空き家や空いた土地の利用等困っている。
	推進会議	自治会長の話し合いをもっとやって欲しい。
		推進会議は行政と連携して何かお手伝いをして欲しい。
		自治会ではこんなことをやってもらいたいということはいっぱいある。例えば、高齢者の健康長寿を考えたカラオケサークルをやりたいが、その補助金の申請代行できないか。
		折角の懇談なので地区わけでなく、シャッフルしてもらえれば他の地区の様子もわかる。
		推進会議はイベントを開催することよりも、もっと自治会会議などに参加してほしい。
		行政・社協・教育が横の連携をとってほしい。
		推進会議は自治体とのつながり、自治会長との連携を強く持ってほしい。
		推進会議について、自治会の役割負担はさけてもらいたい。
		推進会議の真田町全体として活動は広すぎるのでは。
		タイヤ交換や雪かき、草刈りお助け隊をやってはどうか。
	数年にわたり自治会費の値下げに取り組んできたので、自治組織関連で値上げにつながるような事がないか心配。	
	その他	自治会未加入者への対応（会費、ゴミ捨て、消防等）
		30・40歳代で結婚していない率が高い。
将来的にお墓や家を守っていくことへの不安		
自治会費が高い。		
若者の結婚問題。		
その他	地域づくり	
	将来ビジョンやどんな街にしたいかが見えにくい。	
	観光資源は何なのか、もう一度足元を見直す機会が必要だ。	
	自然を残しきれいに活用。（田、畑、山、水）	
	若いリーダー養成。	
働く	旧真田町時代に検討されていたグリーンツーリズムの事業。	
	コワーキングできる場所がほしい。	

その他	働く	仕事の外注、テレワーカー、自宅で働く環境づくり、大学生の力を貸してもらおう
		魅力のある人が働ける仕組み
		住みやすいけど働き口は？
	交通	バスを降りた所から家までの交通手段がない。
		買い物難民、移動手段など、手をつけられることがある。
		買い物や病院に行くのに長時間かかる＆車が必須となる。
	施設 ・ 設備	公園等造っても維持管理が大変
		道が凸凹していて危ない。
		注意を呼びかける看板づくりなどの対応が必要。
	産業	林業を伸ばしたい。
	食育	食の安全、地産地消、自校給食など
	その他	人材バンク的な人リストが欲しい。
		真田の空き家バンク作成。
		地域の知恵を知る機会とそれを受け入れる土壌があればいいな。
		ご年配の話の中に規制が多く、前に進めない雰囲気がある。
		老若男女問わず話し合える機会がほしい。
推進会議	法人化検討委員会とあるが、法人化の必要性を感じない。	
	(推進会議で) 今行われている活動・イベント等は本当に地域にとって必要なことなのか。やりたいことをやっているように感じています。	

### 3 真田の郷まちづくり計画策定経過

#### 平成 29 年度(2017 年度)

月 日	会議名等	計画策定に関する内容
10 月 31 日	理事会	まちづくり計画策定に向けて
12 月 3 日	信州『真田の郷』ミーティング	ワークショップ実施 場所：銀座 NAGANO
2 月 24 日	真田の郷タウンミーティング	ワークショップ(地域課題 5 テーマ)

#### 平成 30 年度(2018 年度)

4 月 20 日	理事会	まちづくり計画策定について
5 月 22 日	評議員会	まちづくり計画策定取り組みについて
5 月 24 日	まちづくり計画策定部会議	まちづくり計画策定に向けて今後の確認など
5 月～7 月	真田地域住民インタビュー [まちづくり計画策定部]	真田地域在住の任意の住民に対して、「真田の郷まちづくり推進会議」役員が質疑形式でインタビューを行った。インタビューを受けた方 31 名
7 月 24 日	理事会	まちづくり計画の経過報告



7月26日	さなだのくらしを語る会	意見交換会
7月30日	[まちづくり計画策定部]	①「真田地域の魅力と課題に対する活動の整理」 ②「必要な地域活動について深める」
9月27日	評議員会	まちづくり計画策定の方針について
10月1日	理事会	まちづくり計画策定部インタビューについて、中長期事業計画について
11月13日	理事会	中長期計画《まちづくり計画》についての検討
12月7日	理事会	まちづくり計画書について
12月18日	評議員会	中長期計画について
1月22日	地域協議会	地域協議会委員、推進会議役員、地域振興課職員が6テーブルに分かれ意見交換をした。
2月16日	地域でねばる懇談会	真田地域住民を対象にした懇談会

### 令和元年度(2019年度)

5月13日	理事会	住民アンケートについて検討
5月21日	評議員会	アンケート実施検討について報告
5月24日	理事会	アンケートづくり
6月3日	理事会	地域づくり総会、アンケートについて
6月22日	第1回地域づくり総会	地域まちづくり計画について、アンケートについて、懇談会
7月1日	理事会	アンケートとまちづくり計画について
7月23日	地域協議会	アンケート実施について説明
8月～9月	住民アンケート配布・回収	角間自治会・下横道自治会
9月2日	理事会	アンケートと地域まちづくり計画について
9月18日	理事会	地域まちづくり計画について
10月3日	法人化検討委員会(有識者会議)	地域まちづくり計画(素案)検討
10月7日	理事会	地域まちづくり計画(素案)検討
10月31日	法人化検討委員会(有識者会議)	地域まちづくり計画(素案)検討
11月11日	理事会	地域まちづくり計画(素案)検討
11月22日	真田地域自治会連絡会議	2019年真田地域自治会長へ地域まちづくり計画(素案)について説明、意見交換
11月25日	評議員会	地域まちづくり計画(素案)検討
12月2日	理事会	地域まちづくり計画(素案)検討
12月～1月	住民皆様から意見募集	真田地域全住民からの意見募集
1月20日	理事会	地域まちづくり計画(案)作成
1月28日	法人化検討委員会(有識者会議)	地域まちづくり計画(案)検討
2月5日	理事会	地域まちづくり計画(案)を決定
2月18日	評議員会	地域まちづくり計画(案)決定